

# 平成29年度 恵庭ブロックの研究

## 研究主題

自分のからだと向き合い、自ら選択し表現できる子どもの育成をめざして

副題 養護教諭のスタンスを見つめなおして・・

## 主題設定の理由

私たちはこれまで、「子どものための学校保健」とは何かを、常に自らに問い続けながら執務してきた。その中で近年、子どもたちの健康問題も複雑多様化し、学校には適切な対応が求められている。

子どもたちにとって、安全安心な学校であるためには、これらから目をそむけられない。しかし、単に管理し対応するだけでは、「子どもを中心に据えた学校保健」とはかけ離れていくと考えた。

そこで、どのような健康問題があったとしても、自分のからだと向き合い、自ら選択し表現できる力を育てていくことが重要であると考え、この主題を設定した。

## 研究の仮説

1. 学校保健にかかわる新たな健康施策を分析、検討していくことで、養護教諭としてどんな視点をもって取り組んでいくのが明らかになる。
2. 子ども、保護者、教職員へ適切な働きかけをすることにより、自分のからだにむきあい、自ら選択し表現できる子どもが育つ。

## 研究内容

実践交流の中で見えてきた問題解決に向け、どのような手立てがあるのか検討し、実践を行う。

1. 問題点を明確にし、対応や支援のあり方を探る。
2. 執務を見直し、養護教諭としてやるべきこと、できることは何かを学習し実践する。

## 研究方法

1. 全体で研究、協議する。
  - (1) 新たな健康施策を学習する。
  - (2) 取り組みをすすめる上での養護教諭としてもつべき視点を検討・交流し実践する。
  - (3) 子ども・保護者・教職員への適切な働きかけを検討し、実践交流する。
2. 交流や学習したことを記録化し、積み上げていく。
3. 理論・実技研修を行う。